

みたけ夢だより

夏休み号

横浜市立みたけ台小学校

横浜市教育情報ネットワーク【Y・YNET】公開サイト <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/mitakedai/>

愛川宿泊体験学習から得たもの

副校長 藤本 尚子

6月27日と28日に、「じりつ」～自分から積極的にりっぱなたいどで強い心を育てよう～というスローガンのもと、四年生の愛川宿泊体験学習を実施しました。四年生にとっては初めての宿泊です。

最初に到着した宮ヶ瀬ダムダイナミックな放流は、ずっと見ても飽きることなく、飛んでくる水しぶきに歓声があがりました。

愛川公園の木陰で昼食を終えた後、いよいよ「愛川ふれあいの村」に到着し、ロッジに入ると、子どもたちは素早く準備をして、「木ラリー」が始まりました。日ごろ見かけない樹木を探すことで自然に目を向けることができました。



その後、感心したことは、「次は何をしますか。」と質問をする子がいなかったことです。テーマソング「愛川行きたい!!」は、2日間の活動が順番に出てきて、これを繰り返し歌うことで日程が頭に入っていたのかもしれませんが。まずしおりを確認したり、リーダーが声かけをしたりしていたことも大きかったと思います。まさに、「じりつ」です。また、事前に学習したことを生かして、協力して寝具の準備をしたり、常にグループ行動を意識して活動したりすることができていたことも良かったと思いました。これは一・二・三年生の校外学習で身に付けた力だと思います。

夜のキャンプファイヤーは、風が強めであったため、ぎりぎりまで現地スタッフの方と相談し、風の向きを考えながらの実施となりました。子どもたちは約束を守り、安全に気をつけながらも、学年がひとつになり思い切り楽しむことができました。これが五年の子浦、六年の日光・赤城につながり、パワーアップしていくのだと思います。

二日目は、魚のつかみどりや、藍染めの選択活動がありました。藍染めでは白い布をゴムで縛って作成するのですが、同じようにしているつもりでも一人ひとり違った仕上がりになり、まさに世界でたったひとつのバンダナが出来上がりました。染色をした後、太陽にあてると緑から青にだんだん色が変わる不思議さを感じることもできました。日ごろ経験できない体験をし、学校生活では見られない表情で真剣に取り組む子どもたちの姿がありました。

愛川宿泊体験学習で得た学びは計り知れません。「じりつ」というスローガンを思い出しながら、これからの学校生活にも生かされることと思います。

明日から長い夏休みが始まります。夏休みにしかできない体験をして、一回り成長した子どもたちに会えるのが楽しみです。